

2部

フィールド フィールド
現場から現場へ



自信につながった 通信教育部での学び

学生 MESSAGE

通信教育部社会福祉学科卒業生 佐藤 良美

はじめに…

私は現在、通所介護事業所（デイサービス）で生活相談員として勤務しています。日々、利用者様やそのご家族と関わりながら、各関係機関と連携を図り、情報交換などを行っています。しかし、これまで援助に対する姿勢に全くと言っていいほど自信をもてずにいました。実践経験も大切なことですが、相談援助の知識がなければ対人援助ができないのではないかと思い、3年前から通信教育部での勉強を始めました。

レポートとスクーリング

私は、もともと本を読むことや文章を書くことが苦手なほうなので、レポート作成までの道のりがとても長く、テキストを読むところから始まり、それを理解すること、さらに課題に沿った内容を自分なりに要約することにとっても時間がかかりました。

レポート作成においても、レポートとは何か、何を書いているのか、どのように書き始めたらいいのか、と悩み、なかなか前に進まないものでした。書き終えても文章構成がバラバラで、これがレポートなのかと不安にもなり、提出する前に職場のスタッフに読んでもらったこともありました。しかし、何度か書いているうちにコツがわかり、自分なりの考えや思いも書けるようになりました。不安はあると思いますが、「まずは書いて出す!」。再提出を覚悟で取り組んだ方がよいと思います。

1人での勉強だけでは学習内容を理解するには不十分であり、レポート

作成についての情報も必要だったため、全教科のスクーリングに参加しました。先生方のわかりやすい講義やレポートのポイントなど聞くことで理解が深まり、レポートも書きやすくなりました。また、休憩時間などにちょっとしたきっかけでほかの学生たちとお話もでき、たくさんの情報を得ることもできました。最初は話しかけることにとても勇気が要りましたが、きっと卒業までお互い励まし合い、助け合える仲間ができると思うので、ぜひ仲間を作ってほしいと思います。

社会福祉援助技術実習

私は、高齢者福祉以外の社会福祉分野についての知識や、行政機関として他機関などとの連携、対人援助の基本である相談業務について学ぶため、地域における総合的な相談窓口でもある社会福祉事務所で実習を行いました。

実習では、行政の役割や各分野の概要説明のほか、社会福祉協議会や保育園、ワークステーションなどの施設でも実習をさせていただき、幅広く学ぶことができました。さまざまな問題を抱え、何らかの援助を必要としている人たちに対し、行政の各分野での縦の連携だけでなく他との横断的な連携が不可欠であることを実感しました。

実習を終えて思うことですが、実習計画をもう少し具体的に策定したうえで、自分が学びたいこと、やってみたいことを取り入れ、実習先の担当者と念入りに話し合うべきだったと後悔しています。計画を明確にすれば積極的に取り組むことができ、充実した実習になっていたことと思います。後悔のない実習ができるように、しっかりとした実習計画を立てることをお勧めします。また、余力があれば一日の目標まで具体的に計画しておく、日々の実習記録も書きやすくなると思います。

社会福祉士国家試験

私は社会福祉士資格を取得するために特講を受講し、少ない時間の中で取り組む勉強方法やモチベーションを維持できる方法などを教えていただきました。

それを踏まえた、私なりの受験対策ですが、主に過去問題集（『2011社会福祉士国家試験過去問解説集』中央法規出版）、参考テキスト（『必携社会福祉士』筒井書房）を中心に5月末から取り組み始めました。勉強方法としては、①過去問題を解く、②解答・解説を読む、③参考テキストに出題されたところや解答・解説にある重要だと思うものにラインを引く、参考テキストに書いていないものはメモ書きを入れる、といったものです。

1日に過去問題1教科（7問程度）することを目標にし、毎日①～③を繰り返す、過去問題集を一通りやり終えたらまた最初に戻り、何度も勉強していきました。休日は1日に2～4教科取り組み、余力があるときには付箋を使って暗記モノを書き出し、常に目に入るようなところに貼っていました。9月頃から模擬試験の問題、11月頃には予想問題（『社会福祉士国家試験模擬問題集2011』中央法規出版）に切り替えて、同じように勉強を続けました。さらに、携帯電話で一問一答ができるサイトがあったので、少しの空き時間もムダにしないように活用していました。

そして、毎日楽しく勉強が続けられるように、得点表を作成して自分の実力を数字で表したり、③のライン引きやメモ書きはカラフルにしたりと工夫をしました。そうすることで、「たくさん勉強している」という実感がわき、「また明日も勉強しよう」という気持ちになりました。

継続して勉強していくことで必ず量から質へと変わっていきます。気がつくと、勉強している内容が自然と頭に入っていました。少しの時間、たとえ5分でも10分でも勉強するクセをつけるとよいと思います。

受験まで勉強することは重要ですが、試験当日までモチベーションを高

めていくことも大切だと思います。私は性格上負けず嫌いなので、「絶対合格する！」と常に言い聞かせてきました。また、大きな目標を掲げ、その目標が達成することを想像しながら取り組んでいました。そして、学友と連絡をとり、お互いの状況報告をして励まし合い、モチベーションを高めていきました。

私なりの受験対策は今年度の「特講・社会福祉学5（社会福祉士国家試験対策講義）」スクーリングでもお話しさせていただきました。参考になったか不安は残りましたが、受講生からはさまざまな質問を受け、試験への意気込みを感じました。ぜひ、絶対合格できるという気持ちで常に持ち続けて勉強に励んでください。今年度特講を受講された方を含め、みなさんが合格できることを願っています。また、今後受験をしようと考えている方は、ご都合が合えば、ぜひ特講を受講されることをお勧めします。

おわりに…

昨年9月に無事卒業し、今年3月には社会福祉士国家試験に合格することができ、二重の喜びと達成感で心がいっぱいになりました。

通信教育部での勉強を振り返り、自分自身を再発見することができました。それは日常において物事にあまり関心がなさすぎたこと、自分の考えや思いがなかなか引き出せないこと、相手にうまく伝えられないこと、など、ハッとさせられることが多く、これらが仕事に自信がもてない原因だったのかもしれません。

大学で学んだことが少しずつ活かされ、自信にもつながってきているように思います。もっと自信が持てるようになるためには、大学での勉強で終わらせず、常に学ぶ姿勢を持ち続け、そして様々な知識や経験が必要ではないかと思っています。

今の自分があるのも、これまでご指導していただいた先生方、通信教育

部の方々をはじめ、家族、職場のスタッフ、そしてたくさんの学友に支えられてきたおかげだと思っております。心から感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

今後も通信教育部の学生の皆さんに、微力ながらご協力していきたいと思っております。よろしくお願い致します。